

令和4年度 第1回 ビジネス実務学科FD 報告

日 時：2022年6月21日(火)15:30～16:20

担当者：瀬戸

場 所：A135 教室

参加者：藺森、藤元、瀬戸、矢澤、越野、若月、井戸、小原

<テーマ>

2023年度から適用される新ディプロマポリシーと学習成果ならびに学修評価シートの整合性の検討

(内容)

まず、新ディプロマポリシーと学習成果の整合性について以下の点を中心に検討した。

1. 「人間性」に関して、新ディプロマポリシーに記載されている「多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な関係を築いていくことができる。」に相当する項目を学習成果に追加するかどうか。
2. 「社会性」に関して、新ディプロマポリシーに記載されている「地域社会を理解し」に相当する項目を学習成果に追加するかどうか。
3. 「専門性」に関して、各コース別の記載をコース共通の表現にまとめるかどうか。
4. 「専門性」に関して、新ディプロマポリシーに記載されている「各種資格取得を目指して専門性を磨き」に相当する資格取得を意識した表現を学習成果に入れるかどうか。

上記各項目について検討した結果、以下のように対応することとした。

1. について

学習成果「人間性」に「C)多様な考えや価値観を尊重し、他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。」を追加。

2. について

学習成果「社会性」にある「A)社会人としての常識・教養の必要性を理解し、それを身につけることができる。」を「A)社会人としての常識・教養を身につけている。」に修正し、地域社会の理解もこの項目に含まれることとした。

3. 4. について

各コース別に記載されていた「専門性」F)については、全コース共通の表現に統一し、資格取得を意識した表現を付け加え、「F)専門的な知識や技能を身につけている。(資格取得を含む)」と「G)専門的な知識や技能を柔軟に活用することができる。(資格取得を含む)」の2項目で表すこととした。

次に、修正後の学習評価の各項目が、2023年度入学生から適用される新カリキュラムの少なくとも1つ以上の科目の成績によって評価できるかどうか点検した。点検の結果、すべての項目が評価できるという判断に至ったが、各科目における学習成果の比重を示す◎や○の数は、◎は1個、○は2～3個までに限定すべきであるという認識で一致した。

新設科目を含む各科目と学習成果の関連性については、今後さらに詳細に検討を加えていくこととなった。

